

かわさきコロナ情報(動画特設ページ)

#17 令和2年5月22日 ~市内の家庭ごみの「いま」について~

5月20日金曜日かわさきコロナ情報、今日は市内の家庭ごみの「いま」についてお伝えしていきたいと思います。

先日、川崎病院の医療従事者のことについて、動画でお伝えしたと思いますが、その後動画を見た皆さんから大変多くの反響がありまして、多くのありがとうという感謝のメッセージが病院にもたくさん寄せられております。本当にありがとうございます。今日は同じエッセンシャルワーカー、社会機能を維持していく仕事の一つとして、ごみの収集作業員のところに目を向けたいと思います。感染リスクがある中で、日々収集業務にあたっておりました、その中で市民の皆さんからごみを出されたところに、手紙で「ありがとう」とか感謝の言葉が添えられているというのが最近多くなってきて、職員たちも大変励まされております。改めて感謝申し上げたいと思います。今日はこのごみの収集作業の様子などを動画にまとめましたので、是非御覧いただきたいと思います。それではこちらを御覧ください。

私たちの職場からコロナウイルスの感染者を出さないということで、精神的につらいついていうところもありますけれども、また普段の生活とかでも自粛生活を余儀なくされる皆さんも一緒だと思いますけれども、そういうところでのストレスというのは、非常に強く感じながら毎日の業務に携わっているようなところはあります。明らかにごみの量が非常に多くなったっていうのと、袋が破裂しているとかは日常茶飯時であることなので、その中にティッシュやマスクが入っていたりすると、よくそこは気をつけて、破裂しないようにとか、分けながら気をつけながら収集したりとかっていう手間は少し増えているところでありまして。コロナウイルスに感染してしまうというリスクは非常に感じているところでもありますけれども、市民の生活を守るという大切な業務だと思っていますので、そこは気をつけながら業務に携わっています。袋にセロテープで貼られていることが多くて、直接書かれていることもあるんですけれども、「ありがとうございます」とか「大変なのにありがとうございます」とか書かれていたりとかすると、やっぱり気持ち的にも、すごいこの仕事やっていて良かったなって思いますし、誇りに思っている業務っていうところで、一層気が引き締まるというか、特にお子さんからの絵のついた手紙だったりとかっていうのも、余計にしっかり業務をやらなきゃいけないなと気が引き締まる思いで、嬉しくも思います。またその期待に応えていきたいと感じます。

今動画で見ていただいたとおり、多くの手紙をいただいでいて、ごみの収集作業員や、あるいはごみ処理に関わる職員が、本当に励まされています。改めて感謝申し上げたいと思います。皆さんからのメッセージを励みに、また頑張れると思います。

さて、自宅に過ごされる時間が多くなる中で、ごみの量というのが増えております。4月第1週以降に、4月7日の緊急事態宣言以降、急激に家庭から出るごみの量が増えておりました、だいたい5%~20%の割合で、昨年同月比で伸びているということです。本当にごみの総量自体が増えていくというのは避けられないかなと思うんですが、こういう時にこそ、是非、分別により強く取り組んでいただければと思います。混ぜればごみになりますけれども、分ければ資源になる、そういった取組をこんな時だからこそ、みんなで一致協力して御協力いただければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。